

令和 4 年 6 月 9 日現在

機関番号：15301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2020

課題番号：17H04096

研究課題名（和文）配偶子凍結保存の増加と「ライフプラン」「ジェンダー観」の変化に関する学際的研究

研究課題名（英文）Interdisciplinary study on increase of the gamete cryopreservation and changes of the "life plan" and "way of thinking about gender"

研究代表者

中塚 幹也 (Nakastuka, Mikiya)

岡山大学・保健学域・教授

研究者番号：40273990

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,300,000円

研究成果の概要（和文）：性同一性障害当事者への調査（2017年）では、「子どもを持ちたい」との回答は高率であった。また、出自を知る権利に関しても「子どもに伝えたい」との回答は約6割であった。全国の日本産科婦人科学会の登録施設の代表者への調査（2018年）でも、LGBTQ当事者が子どもを持つことへの肯定感が高く、第3者が関与する生殖医療で子どもを持つことに対しても約3割が「行ってもよい」と回答していた。また、すでにレズビアンカップルへのAIDなどが実施されていた。全国の一般市民への調査（2019年）でも、精子・卵子提供による生殖医療の対象として、LGBTQ当事者は比較的上位であった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

配偶子（精子や卵子）の凍結や提供の急速な普及を前に、養子・里親制度との比較、生まれた子どもの出自を知る権利などの議論は不十分である。さらに、女性の社会進出や晩婚化・少子化などライフプラン、ジェンダー観、LGBTQ当事者も含む家族形態の多様化に関する長期的視点での調査は行われていなかった。このように多様化する生殖医療を取り扱う法律として、2020年12月に生殖医療民法特例法が成立するも十分な規定がない。本研究では、関連する規定を設けるための議論の基礎となる日本人の意識に関するデータを提供、また、種々の情報発信により、市民が関心を持ち議論する機会を作る。

研究成果の概要（英文）：In the survey to transsexuals (2017), the answer, "I wanted to have a child" was high. In addition, the answer, "I wanted to tell a child about it" was about 60%. In the survey to the representative of registered facilities of Japan Society of Obstetrics and Gynecology (2018) was high in a feeling of affirmation to the LGBTQ persons having a child, and about 30% replied, "we may perform it" for having a child by the reproductive medicine using donor's sperm or ovum. In addition, AID to a lesbian couple has been already carried out. In the survey to citizens of the whole country (2019), they were relatively affirmative to the reproductive medicine by donor's sperm or ovum among the LGBTQ persons.

研究分野：生命倫理

キーワード：精子凍結 卵子凍結 精子提供 卵子提供 性的マイノリティ ライフプラン LGBTQ 性別不台

## 1. 研究開始当初の背景

配偶子(精子や卵子)の凍結保存(また、凍結配偶子の提供)の普及は、抗がん剤治療を受ける患者の妊孕性(妊娠する能力)を高めた(医学的理由での配偶子凍結)。その一方で、社会的理由での卵子凍結保存(Social egg freezing)も始まっており、この背景には、女性の社会進出などから結婚や妊娠を先送りする女性の増加がある。また、卵子凍結保存への助成は、Apple社やFacebook社などの企業のみではなく、米軍や千葉県浦安市(現在、終了)など、国や行政においても行われている。

しかし、卵子凍結保存の拡大は「少子化対策」「女性のキャリア支援」への期待は高いものの「未婚化・晩婚化」「高齢出産や高齢育児」「女性の企業・労働への縛り付け」につながる懸念もあり、女性(また、パートナーとなる男性)のライフプラン形成に様々な影響を与える可能性が高い。

また、私達の調査では、30代後半の男性、女性ともに「卵子の凍結保存を行っている女性の方が結婚に有利」と回答しており、モノ化した凍結卵子が女性の価値に影響するなど「ジェンダー観」も変化する可能性がある。

多岐にわたる性の要素(身体の性、性自認、性的指向、性別表現、性役割、割り当てられた性など)のパターンが多数派と異なる人々は性的マイノリティと呼ばれ、LGBTQ(Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Questioning, Queerの頭文字)という言葉も使われる。このうちトランスジェンダー(特に「性同一性障害/性別違和」)は医療の対象ともなっている。人口の約8%とされる性的マイノリティ(LGBTQ)当事者の中でも、性同一性障害当事者は、性別適合手術時に精子や卵子を凍結保存し、ゲイやレズビアンのカップルは、提供卵子・精子(さらに、代理出産)で家族を持つとしている。

このような凍結配偶子のもたらした課題としては、死後の夫の凍結精子による生殖医療(死後生殖)で児を得た事例や、提供精子により児を得た性同一性障害当事者の事例の父子認知裁判があり、家族法(民法の一分野)の視点からの判例分析も行われている。

しかし、配偶子凍結(自己使用や第三者への提供)の急速な普及を前に、養子・里親制度との比較、生まれた子どもの出自を知る権利などの議論は不十分であり、さらに、女性の社会進出や晩婚化・少子化などライフプラン、凍結配偶子と連結され変化するジェンダー観や家族形態の多様化(親子の年齢差、遺伝的つながりの有無、性的マイノリティ等)の長期的視点での観察調査は行われていない。

日本には、このように多様化する生殖医療を取り扱う法律(2020年に生殖医療民法特例法が成立するも十分な規定がない)がなく、日本産科婦人科学会の見解などに基づき自主規制のもとに実施されている。また、議論の基礎となる日本人の意識に関する大規模データは不足しており、不幸にも観念的な議論に陥りがちである。

## 2. 研究の目的

配偶子の凍結保存や提供に直接関与している、あるいは、その可能性のある産婦人科医療施設代表者、また、一般人への調査を継続して行うとともに、地域を海外にまで拡大する。さらに、性的マイノリティ当事者を対象とした社会調査を行い、日本と海外の人々の配偶子凍結、凍結物の提供に対する意識を明らかにする。さらに、就労、結婚、子どもを持つなどのライフプラン形成、ジェンダー観への影響について調査する。

ここでは、その賛否を問うだけでなく、生命観、死生観、身体観、倫理観、価値観、科学観、テクノロジー観、宗教観、家族観なども問い、配偶子・性腺凍結保存への賛否とそれらの関連も調べる。また、配偶子凍結保存に伴う国内外の訴訟例における判例の分析及び関連学説の検討を行い、社会調査の分析結果も踏まえて、多様かつ複合的な視点から我が国における配偶子・性腺凍結保存、その凍結物の提供のあり方を提言する。

## 3. 研究の方法

国内外の関連した判例などを調査するとともに、国内では全国の生殖医療施設の施設代表者の意識調査、一般市民の意識調査を実施し、過去のデータとの比較、経時的な推移を明らかにする。さらに海外3か国での調査を実施、日本とともに4各国の比較を行う。

公開シンポジウムを開催し、これらのデータを公表するとともに、種々の立場の専門家等のシンポジストとともに議論を行う。

学会等で報告、論文や書籍として発表、インターネット、マスメディア等でも発信する。国による法制化などの政治判断のために、また、生命倫理、法律、教育、医療、社会学などの各分野の研究のための基礎資料となるように調査データを供給する。

## 4. 研究成果

私達の行った「社会的理由による卵子凍結保存への肯定感」に関する調査を見ると、一般人では2013年の約25%、2016年の約56%、2019年の約76%と増加の一途であった。一方、生殖補助

医療の実施施設代表者（医師）では、2012年には約60%と高率であったが、全国的な卵子凍結の普及に伴い、2015年の約20%、2018年の約30%と低下、一般人と比べ、社会的理由での卵子凍結保存の実施に懐疑的になっていることが明らかになった。

また、卵子の凍結保存を行わないまま高齢となった女性が、若い女性の卵子提供を受けて妊娠・出産する例も増加している。卵子の提供者（ドナー）となる女性・国を求め、渡航先は時代とともにアメリカ西海岸、韓国、インド、タイと変遷し、現在は台湾が大きな提供国となっている。私達は、2020年2月に台湾において、現地の体外受精等の生殖医療実施施設における日本人に対応するスタッフへの調査、台湾政府の衛生福利部（日本の厚労省）における担当者への聞き取り調査を実施した。多くの日本人が卵子提供を受けていること、また、現地の卵子ドナーの実態、生まれた子どもへの卵子ドナーの情報の提供（出自を知る権利）への考え方などについて報告した。また、台湾では、性的マイノリティ（LGBT）当事者の配偶子凍結や提供による生殖医療の実態についても調査した。

人口の約8%とされる性的マイノリティ（LGBTQ）当事者であるが、手術やホルモン療法の前に卵子や精子を凍結保存したり、第三者からの卵子や精子の提供（さらに、代理出産）を受けたりすることで家族を持つ例は増加している。日本においても提供精子により児を得た性同一性障害当事者の事例の裁判もあり、私達の一般人の意識調査結果の論文が最高裁弁護団から提出され、父子認知が認められている（中塚幹也：性の多様性に対する生殖医療の役割。医学のあゆみ263：349-351,2017.）。私たちは、他にも、日本での調査結果を「LGBTに生殖医療 指針想定外 4施設実施」（共同通信、朝日新聞、他、2019年）などの形で情報発信した。

日本社会では「LGBTQ当事者はいないもの」として法律や制度などが作られてきた（中塚「性的マイノリティ当事者を取り巻く現状-法律、結婚、生殖医療など」医学のあゆみ、2021年10月23日発行）。このため日本では、LGBTQの子どもが、就学、就労、家族形成などのライフプランを立てることは非常に困難な状況が続いている。学校でのいじめや職場でのハラスメントなどとともに「将来が見えない」ことは、高い自殺やうつ発生率につながっている。

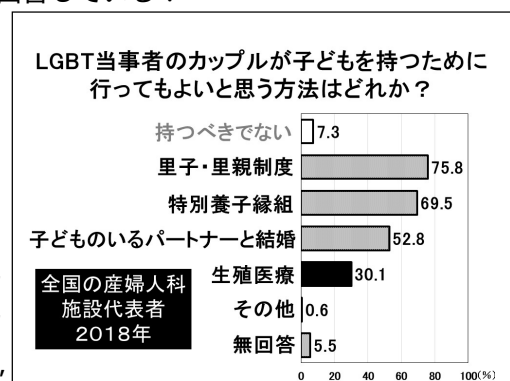
特に、「家族形成」に関する政府・行政の取り組み、社会の受容は遅れている。主要7カ国(G7)でも、同性婚(同等の制度)を認めていないのは日本だけとされ、子どもを持つための障壁も高い。

2020年12月、「精子・卵子提供により生まれた子ども」の法的な親を規定する「生殖医療民法特例法」が成立、超党派の「生殖補助医療のあり方を考える議員連盟」で運用が議論されている。しかし、精子や卵子の提供を受ける対象は法的夫婦に限るのか、独身女性や同性パートナーシップを持つLGBTQ当事者を含めるのかは明らかになっていない。また、養子・里親制度における親子のマッチング過程でLGBTQ当事者への偏見や差別も根強い。さらに、精子や卵子の提供者が不足する中で、SNS上での個人的な精子の売買、世界最大の精子バンクであるクリオス・インターナショナル（デンマーク・オーフス）の日本上陸、卵子を求める女性の台湾への渡航などが社会的に注目されている。不足している提供者（ドナー）を海外に求めるのか、国内に求めるのか、提供は有償とすべきか、無償とすべきか、ということも論点となる。このように、法制化に伴って議論すべき課題は多い。

性同一性障害当事者157名への調査（中塚ら、2017年）では、特別養子縁組、第三者の関与する生殖医療、iPS細胞からの配偶子などを利用して「子どもを持ちたい」との回答は各約4～8割と高率であった。また、出自を知る権利に関しても「子どもに伝えたい」との回答は約6割であった。NHKの調査（2015年、LGBT当事者2600人）でも47.6%がパートナーを持ち、5.6%が「子どもがいる」、35.9%が「子どもはいないがほしい」と回答している。

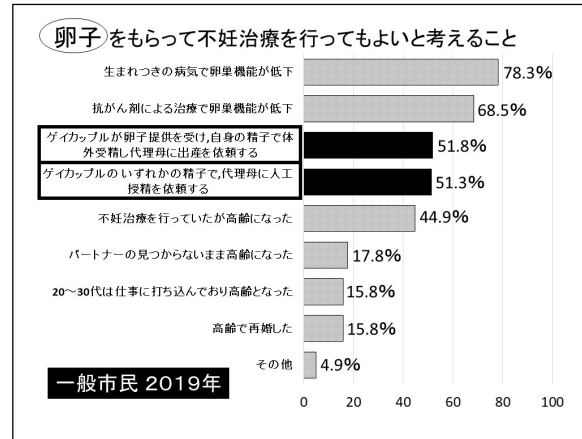
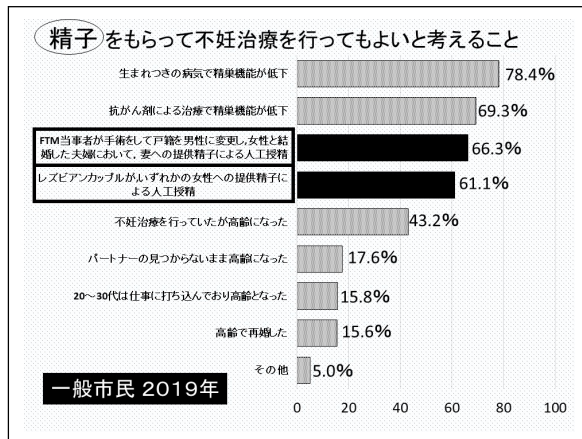
全国の日本産科婦人科学会の登録492施設（生殖医療実施は247施設）の代表者への調査（中塚ら、2018年）でも、LGBTQ当事者が子どもを持つことへの肯定感が高く、第三者が関与する生殖医療で子どもを持つことに対しても約3割が「行ってもよい」と回答していた（図）。

この調査は、日本産科婦人科学会の登録施設においても、すでにレズビアンカップルへのAIDなどが実施されていることも明らかにした（共同通信、朝日新聞、他で報道、



2019年)。

全国的一般市民914名への調査(中塚ら,2019年)でも,精子・卵子提供による生殖医療の対象として,LGBTQ当事者は比較的上位であった(図)。また,LGBT当事者が子どもを持つ上で「戸籍上の夫婦以外であっても良い」とする回答が約半数にも上り,もし,同性婚が認められれば,肯定感はさらに上昇すると考えられる。

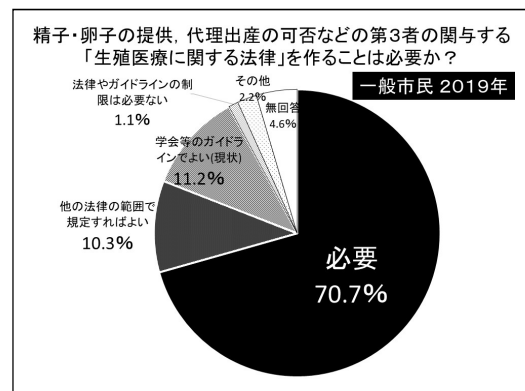


米国・欧州の生殖医学会は「生殖医療の対象からLGBTQ当事者を排除しない」との見解を示しているが,日本では動きがない。また,唯一認められているのは,性別変更したトランス男性が結婚し妻がAIDを受けるケースであるが「精子ドナー不足」のため認定施設でも断られる事態となっている。

困窮したLGBTQ当事者の一部は「SNS上での危険な精子取引」に向かっている現状がある

(「SNS上での精子取引が急増!!第2次ブームの背景とそのリスクは?」中塚,Yahoo ニュース,2021年)。また,世界最大級の精子バンクであるクリオス・インターナショナル(本社デンマーク)の利用,卵子・精子を求めるカップルの台湾への渡航(2020年,中塚の現地調査)なども増加している。

2020年12月に成立した「生殖医療民法特例法」は大きな前進である。しかし,生殖医療の課題を包括的に規定する「生命倫理法」が必要であり,一般市民の約7割も求めている(図)。



このような状況で,水面下で急速に進んでいる「LGBTQ当事者の生殖医療」を公式に実施することを前提に「国内での安全なドナーの確保の仕組み」「出自を知る権利を認める支援」などの具体的な課題解決案を示す時期に来ていると,私達は考えている。また,このような視点で法律や制度が見直されて初めて,LGBTQの子どもが将来を見つめ,ライフプランを立てることにつながる。

これらの状況についても,私たちのデータを示し,問題点や解決の道筋を発信した。(Yahoo! ニュース個人オーサー:中塚幹也:提供精子・卵子による生殖医療 親子関係を明確化する法案提出を契機に望まれる本格的な議論,2020年10月26日)(生殖医療法「必要」7割 岡山大調査 出自知る権利65%指示.産経新聞,2020年12月13日)(第三者の卵子や精子による不妊治療で生まれた子どもの親子関係を明確にするための民法特例法案について,J-WAVE「JAM THE WORLD:UP CLOSE」,2020年11月2日)(「出自を知る権利」とは?日本は法律なし.海外では保障する国も,HuffPost,2021年5月21日)。さらに,自由民主党,立憲民主党などのヒアリングの中で,トランスジェンダー当事者の戸籍の性別変更の要件である生殖腺の切除に関する世界の状況やGID(性同一性障害)学会理事長としての声明,また,これに伴う婚姻や家族形成に関して意見を述べた。

今回の研究期間に,世界的な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大が起き,ライフプランへの影響も見られた。研究開始当初には,予測していなかった事態であったが,このCOVID-19 拡大が及ぼした,生殖医療やライフプランへの意識の変化についても調査を行い,学会発表

やマスメディアへの発信を行った。(臨床助産ケア等の雑誌での論文の連載)(Yahoo!ニュース  
個人オースター：中塚幹也：不妊症・不育症難民の苦悩 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)  
と不要不急, 2020年4月30日).

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計27件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 86
2. 論文標題 新時代のホルモン療法マニュアル 第2章各論 B女性医学 7 性同一性障害 (GID)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 産科と婦人科	6. 最初と最後の頁 190-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 39
2. 論文標題 特集 医療者のためのLGBT/SOGIの基礎知識 巻頭言	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Modern Physician	6. 最初と最後の頁 428-429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 39
2. 論文標題 <LGBT/SOGIの基礎知識> 1LGBT, SOGIの中の「性同一性障害」とは.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Modern Physician	6. 最初と最後の頁 430-433
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 11
2. 論文標題 連載第7回: 助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「LGBTの子どものライフプランへの支援: 結婚」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床助産ケア	6. 最初と最後の頁 114-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 1
2. 論文標題 座談会「トランスジェンダーの現在」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アメリカ研究	6. 最初と最後の頁 1-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 24
2. 論文標題 日本における性同一性障害当事者の課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 女性心身医学	6. 最初と最後の頁 45-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 24
2. 論文標題 性同一性障害と生殖医療：様々な「家族のカタチ」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本生殖内分泌学会雑誌	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 32
2. 論文標題 性同一性障害をめぐる諸問題と対応の課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奈良県大学人権教育研究協議会 研究報告第14集	6. 最初と最後の頁 2-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 11
2. 論文標題 連載第8回：助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「LGBT当事者のライフプランへの支援：性同一性障害当事者が子どもを持つ」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床助産ケア	6. 最初と最後の頁 84-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 71
2. 論文標題 性同一性障害	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本産科婦人科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 2440-2443
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 12
2. 論文標題 連載第9回：助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「LGBT当事者のライフプランへの支援：LGBT当事者と家族形成」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床助産ケア	6. 最初と最後の頁 92-95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 31
2. 論文標題 性同一性障害の子どもへの支援：小児科スタッフが知っておくべきこと	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 山口県小児科医会会報	6. 最初と最後の頁 14-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 12
2. 論文標題 連載第10回(最終回): 助産師・看護師に知ってほしいLGBTの基礎知識「ライフプラン教育とLGBTの子ども」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床助産ケア	6. 最初と最後の頁 57-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 15
2. 論文標題 特別報告: 多様化する健康課題～性別違和を持つ子供たち～「研究者の立場から」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本健康相談活動学会誌	6. 最初と最後の頁 7-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古井辰郎, 高井泰, 木村文則, 北島道夫, 中塚幹也, 森重健一郎, 山本一仁, 橋本大哉, 松本公一, 大園誠一郎, 堀部敬三, 鈴木直	4. 巻 45
2. 論文標題 本邦におけるAYA世代がん患者に対する妊孕性に関する支援体制: がん専門医調査の結果より	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 癌と化学療法	6. 最初と最後の頁 841-846
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuko Takahashi, Tadahiko Shien, Ai Sakamoto, Yuko Tsuyumu, Ryo Yoshioka, Maya Uno, Minami Hatono, Mariko Kochi, Kengo Kawada, Takahiro Tsukioki, Takayuki Iwamoto, Hirokuni Ikeda, Naruto Tairaa, Junji Matsuoka, Mikiya Nakatsuka, Hiroyoshi Doihara	4. 巻 72
2. 論文標題 Current Multidisciplinary Approach to Fertility Preservation for Breast Cancer Patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Acta Medica, Okayama	6. 最初と最後の頁 137-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 于麗玲, 宍戸圭介, 中塚幹也, 粟屋剛	4. 巻 26
2. 論文標題 人工生殖法(台湾) < 翻訳 >	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 岡山商科大学法学論叢	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細木菜々恵, 田崎史子, 為定春奈, 片岡麻美, 南原あかり, 千葉智美, 中塚幹也	4. 巻 34
2. 論文標題 「卵子提供により子どもを持つこと」に対する大学生の意識	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 岡山県母性衛生	6. 最初と最後の頁 33-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 南原あかり, 細木菜々恵, 田崎史子, 片岡麻美, 千葉智美, 為定春奈, 中塚幹也	4. 巻 34
2. 論文標題 一般市民におけるLGBTの知識と意識	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 岡山県母性衛生	6. 最初と最後の頁 39-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 片岡麻美, 南原あかり, 細木菜々恵, 千葉智美, 為定春奈, 田崎史子, 中塚幹也	4. 巻 34
2. 論文標題 大学生における「行政が行う婚活支援事業」に対する意識調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 岡山県母性衛生	6. 最初と最後の頁 41-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 72
2. 論文標題 配偶子保存の必要性和課題：配偶子凍結に伴う倫理的問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床婦人科産科	6. 最初と最後の頁 424-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuro Furui, Yasushi Takai, Fuminori Kimura, Michio Kitajima, Mikiya Nakatsuka, Ken ichiro Morishige, Akiko Higuchi, Chikako Shimizu, Miwa Ozawa, Akira Ohara, Ryohei Tatara, Terukazu Nakamura, Keizo Horibe, Nao Suzuki	4. 巻 18
2. 論文標題 Fertility preservation in adolescent and young adult cancer patients: From a part of a national survey on oncofertility in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Reproductive medicine and biology	6. 最初と最後の頁 97-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuro Furui, Yasushi Takai, Fuminori Kimura, Michio Kitajima, Mikiya Nakatsuka, Ken ichiro Morishige, Akiko Higuchi, Chikako Shimizu, Miwa Ozawa, Akira Ohara, Ryohei Tatara, Terukazu Nakamura, Keizo Horibe, Nao Suzuki	4. 巻 18
2. 論文標題 Problems of reproductive function in survivors of childhood and adolescent and young adult onset cancer revealed in a part of a national survey of Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Reproductive medicine and biology	6. 最初と最後の頁 105-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 84
2. 論文標題 特集：産婦人科領域における難病を考える - 新たに成立した難病法の視点から [ 小児慢性特定疾病 ] 1 1. 卵巣形成不全	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 産科と婦人科	6. 最初と最後の頁 836-839
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 263
2. 論文標題 性の多様性に対する生殖医療の役割	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 349-351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮本志織, 片岡久美恵, 中塚幹也	4. 巻 16
2. 論文標題 悪性腫瘍等の治療に関与する医療スタッフにおける生殖機能温存についての意識と対応の実態	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本不妊カウンセリング学会誌	6. 最初と最後の頁 56-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚幹也	4. 巻 58
2. 論文標題 性同一性障害当事者と家族形成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 母性衛生	6. 最初と最後の頁 学3 - 学8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計81件 (うち招待講演 45件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 多様な性を認め合う社会を実現するために今私たちができることは？
3. 学会等名 岡山弁護士会 2019年度 憲法記念県民集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 L G B T の基礎知識と学校における子どもへの対応
3. 学会等名 安佐学校保健会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性教育で知っておくべき L G B T Q の基礎知識
3. 学会等名 岡山SRH研究会セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 L G B T の基礎知識：トランスジェンダーの子どもへの対応
3. 学会等名 静岡県田方地区学校保健会総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBTとは？私たちにできること
3. 学会等名 倉敷市男女共同参画センター講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 Situations surrounding transgenders in Japan
3. 学会等名 第29回日本女性心身医学会研修会 日韓合同企画：JSP0G-KSP0G Joint Symposium (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBTの基礎と医療施設での対応
3. 学会等名 香川県立中央病院 職員研修会 臨床倫理研修 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumiko IWAO and Mikiya NAKATSUKA
2. 発表標題 Trial of Incorporating the Latest Medical Information into the Sex Education Program for High-School Students to Prevent Sexual Transmitted Infections
3. 学会等名 ICIMTH 2019 (17th International Conference on Informatics Management and Technology in Healthcare) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性同一性障害の子どもへの支援：小児科スタッフが知っておくべきこと
3. 学会等名 日本小児科学会山口地方会・山口県小児科医会合同総会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 思春期の学生に知ってもらいたい妊孕性妊娠に適した年齢や生殖医療の基礎～最新知識
3. 学会等名 令和元年度 岡山県 妊孕性等普及啓発標準プロジェクト「未来のパパ&ママを育てる出前講座」講師養成研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 不妊症の基礎知識
3. 学会等名 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 がん診療に関わるすべての医療スタッフのためのがん患者と生殖医療の実際
3. 学会等名 香川県・香川県産婦人科医会 妊孕性温存治療に関わる研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 「性別違和」のある児童生徒への支援
3. 学会等名 京都府総合教育センター 人権教育講座（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBT/SOGIの基礎知識：地域や学校における対応と医療との連携
3. 学会等名 高知県 思春期保健に関わる支援者等研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性同一性障害診療の実際と産婦人科医
3. 学会等名 第20回日本内分泌学会中国支部学術集会・JES We Can （男女共同参画推進委員会）共同企画 パネルディスカッション 「トランスジェンダーと内分泌」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBTの基礎と病院での対応
3. 学会等名 笠岡第一病院 倫理研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 がん診療に関わる医療スタッフのためのがん患者と生殖医療の実際
3. 学会等名 九州がんセンター 緩和ケア勉強会（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 兼森雅敏, 久保光太郎, 樫野千明, 岡田真紀, 酒本あい, 鎌田泰彦, 中塚幹也, 増山 寿
2. 発表標題 妊孕性温存のため卵巣凍結を行った急性骨髄性白血病の2症例
3. 学会等名 第72回中国四国産科婦人科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 L G B Tについて理解を深める ~ 学校としてすべきこと~
3. 学会等名 静岡県高等学校・特別支援学校保健主事研修会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性教育の中で伝えること: ライフプランや性の多様性など新たな課題に対応するには
3. 学会等名 兵庫県 性に関する指導・エイズ教育研修会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性別違和の身体的治療やその問題点、家族
3. 学会等名 GID (性同一性障害) 学会 第11回エキスパート研修会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBT/SOGIの基礎知識
3. 学会等名 宮崎県人権啓発活動協働推進事業 宮崎産業経営大学法学部人権講座「セクシャル・マイノリティの人権について考える」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBTを取り巻く社会の課題
3. 学会等名 宮崎県人権啓発活動協働推進事業 宮崎産業経営大学法学部人権講座「セクシャル・マイノリティの人権について考える」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 細木菜々恵, 千葉智美, 石岡洋子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 大学生における「遺伝性乳がん・卵巣がん」に関する知識と意識
3. 学会等名 第60回日本母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 細木菜々恵, 千葉智美, 石岡洋子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 大学生における育児疑似体験と結婚育児に対する意識の変化
3. 学会等名 第60回日本母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千葉智美, 細木菜々恵, 石岡洋子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 大学生における「性の多様性」「LGBT家族形成」への意識
3. 学会等名 第60回日本母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 細木菜々恵, 千葉智美, 長谷部薫, 高田茉奈, 高野みのり, 石岡洋子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 LGBT当事者が生殖医療で子どもを持つことへの意識：産婦人科施設代表者への全国調査から
3. 学会等名 第60回日本母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩尾侑允子, 中塚幹也
2. 発表標題 性感染症予防に最新の医療情報を取り入れた高校生への性教育プログラムの試み
3. 学会等名 第60回日本母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBTと生殖医療
3. 学会等名 生殖医療サポーターの会OKAYAMA (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 「生殖・妊娠・子育て・LGBT」関連の技能集団形成プロジェクト
3. 学会等名 岡山大学創立70周年記念事業企画・ホームカミングデイ2019 in 鹿田 岡山大学大学院保健学研究科オープンフォーラム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也, 鎌田泰彦, 久保光太郎, 櫻野千明, 佐古智子嶋田 明, 藤井伸治, 枝園忠彦, 片岡久美恵, 山口 そのえ, 大月純子, 田崎秀尚
2. 発表標題 若年がん患者の生殖機能温存に関する カウンセリングシステムの構築
3. 学会等名 岡山大学創立70周年記念事業企画・ホームカミングデイ2019 in 鹿田 岡山大学大学院保健学研究科オープンフォーラム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBTの基礎知識と子どもへの対応
3. 学会等名 香川県LGBT等に関する教職員研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性教育で何を話すのか？
3. 学会等名 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性同一性障害/性別違和/性別不合同と家族形成：結婚子どもそしてライフプラン
3. 学会等名 第64回日本生殖医学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 榎野千明，岡田真紀，久保光太郎，鎌田泰彦，中塚幹也，増山 寿
2. 発表標題 急性骨髄性白血病の女性患者に対し、妊孕性温存を目的とした卵巣凍結保存を施行した1例
3. 学会等名 第64回日本生殖医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田茉奈，細木菜々恵，高野みのり，千葉智美，長谷部馨，辻祥子，中塚幹也
2. 発表標題 配偶子の凍結保存・提供に対する意識：一般人への全国調査から
3. 学会等名 第35回岡山県母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 細木菜々恵，高田茉奈，千葉智美，長谷部馨，高野みのり，辻祥子，中塚幹也
2. 発表標題 配偶子凍結に対する意識：全国産婦人科施設代表者への調査から
3. 学会等名 第35回岡山県母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辻祥子, 高野みのり, 高田茉奈, 千葉智美, 細木菜々恵, 長谷部馨, 中塚幹也
2. 発表標題 不妊症治療施設の看護スタッフにおける「男性不妊」への対応の実態
3. 学会等名 第35回岡山県母性衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 自治体職員が知っておきたいLGBTの基礎知識
3. 学会等名 岡山市職員研修会 LGBT支援者（アライ）の見える化のための研修（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBT/SOGIの基礎知識：トランスジェンダーの子どもへの対応
3. 学会等名 第44回 東日本小児科学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 トランスジェンダーの子どもの封じ込める体験と学校での対応
3. 学会等名 教育現場をサポートするLGBT関連セミナーin岡山（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 トランスジェンダー/性同一性障害の実像と支援
3. 学会等名 第2回 LGBT自治体議員連盟研修会「LGBTを基礎から理解して、議会質問、政策提言に活かせる研修会」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高山修, 大月純子, 舟橋弘晃, 中塚幹也
2. 発表標題 胚培養士が行う不妊予防啓発授業
3. 学会等名 第17回日本不妊カウンセリング学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性同一性障害診療を取り巻く課題と今後の展望
3. 学会等名 第114回 日本精神神経学会 委員会シンポジウム12 性同一性障害/性別違和をめぐる最近の動向 歴史的な変遷を踏まえて(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性教育のなかで妊孕性を啓発するには ライフプランを考えるヒント
3. 学会等名 平成30年度 岡山県 妊孕性教育サポート研修(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大林恵, 千葉智美, 細木菜々恵, 中塚幹也
2. 発表標題 「10代での妊娠・出産」への大学生の意識
3. 学会等名 第38回日本性科学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬尾奏衣, 広保沙紀, 平千紘, 安村朋姫, 舟田瑞希, 山本友里恵, 石岡洋子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 性同一性障害当事者における「特別養子縁組」や「生殖医療」により子どもを持つことへの意識
3. 学会等名 第38回日本性科学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田崎史子, 細木菜々恵, 千葉智美, 為定春奈, 南原あかり, 片岡麻美, 中塚幹也
2. 発表標題 生殖医療におけるゲノム編集に対する大学生の意識
3. 学会等名 第38回日本性科学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 細木菜々恵, 田崎史子, 為定春奈, 片岡麻美, 南原あかり, 千葉智美, 中塚幹也
2. 発表標題 「卵子提供により子どもを持つこと」に対する大学生の意識
3. 学会等名 第38回日本性科学会学術集会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 妊孕性普及啓発：さらなる一歩
3. 学会等名 平成30年度 岡山県 未来のパパ&ママを育てる出前講座師フォローアップ研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 須崎かな，難波瑞穂，高橋麻友，東田明日香，中塚幹也
2. 発表標題 性の多様性と家族形成への意識
3. 学会等名 平成30年度 岡山県母性衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 2018年度の生命倫理に関する話題：「生産性がない」と言われた人々
3. 学会等名 平成30年度 香川県医師会母体保護法指定医師研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 那須明美，中塚幹也
2. 発表標題 女性がんサバイバーにおける妊孕性に関する支援 助産学生の視点から
3. 学会等名 第38回 日本看護科学学会 学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 「生殖医療で子どもを持つこと」全国調査2016および性同一性障害当事者への調査から
3. 学会等名 岡山大学 第10回 生と死の倫理セミナー シンポジウム 様々な家族のカタチ「LGBTと家族形成」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mikiya Nakatsuka
2. 発表標題 Nationwide survey on attitude toward social egg freezing Social influence on women's empowerment and increase in the average age of childbirth
3. 学会等名 第69回日本産科婦人科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sayoko Kotani, Mikiya Nakatsuka, Chiaki, Kashino, Hirofumi, Matsuoka, Toru Hasegawa, Ai Sakamoto, Yasuhiko Kamada, Yuji Hiramatsu
2. 発表標題 Attitudes towards uterus transplantation, surrogacy, and adoption: A survey among university students in Japan
3. 学会等名 第69回日本産科婦人科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野肇子, 中塚幹也, 櫻野千明, 松岡敬典, 長谷川徹, 酒本あい, 小谷早葉子, 鎌田泰彦, 平松祐司
2. 発表標題 悪性腫瘍患者に接する医療スタッフにおける妊孕性温存への意識と支援の実態
3. 学会等名 第69回日本産科婦人科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 生殖医療と生命倫理
3. 学会等名 広島県立大学 助産課程 特別講義（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 産婦人科診療を取り巻く生命倫理に関する話題
3. 学会等名 岡山県母体保護法指定医師研修会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本 志織，片岡 久美恵，中塚 幹也
2. 発表標題 悪性腫瘍等の治療に関与する医療スタッフにおける生殖機能温存についての意識と対応の実態
3. 学会等名 第16回 日本不妊カウンセリング学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性的マイノリティのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ
3. 学会等名 久留米大学医学部看護学科 特別講義（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 「配偶子提供」に対する日本人の意識全国調査 2016の結果から
3. 学会等名 第9回 生と死の倫理 公開セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 『妊娠に適した年齢や生殖医療』を知ったうえでライフプランを立ててもらうためには・・・
3. 学会等名 岡山県「未来のパパ&ママを育てる出前講座」講師養成研修会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 LGBT（性的マイノリティ）当事者の生殖医療と家族形成
3. 学会等名 第35回 日本受精着床学会 ランチオンセミナー8（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 酒本あい，宮原友里，松岡敬典，藤田志保，久保光太郎，小谷早葉子，鎌田泰彦，増山 寿，中塚幹也
2. 発表標題 若年血液腫瘍患者に対する妊孕性温存療法の経験
3. 学会等名 第70回中国四国産科婦人科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本志織, 泉田萌杏, 林奈央, 薬師地仁美, 嶋田雅子, 肥後沙也子, 林田桃子, 横田泉, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 医療スタッフにおける悪性腫瘍患者の妊孕性温存に対する意識と患者への説明の実態
3. 学会等名 第58回 日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大林恵, 上田あゆか, 大西沙紀, 北川温子, 児玉舞雪, 日笠麻友子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 「10代での妊娠・出産」に関する大学生の知識と意識
3. 学会等名 第58回 日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 児玉舞雪, 上田あゆか, 大林恵, 大西沙紀1), 北川温子, 日笠麻友子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 大学生が接したマスメディアの中での恋愛, デートDVの描写と実際の恋愛との関連
3. 学会等名 第58回 日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 和田里 泉, 泉田萌杏, 林奈央, 薬師地仁美, 嶋田雅子, 肥後沙也子, 林田桃子, 宮本志織, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 高校生における妊娠・出産に関する知識と妊娠・出産・子育て期における男性の望ましい行動に対する意識
3. 学会等名 第58回 日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 泉田萌杏, 林奈央, 薬師地仁美, 嶋田雅子, 肥後沙也子, 林田桃子, 宮本志織, 横田泉, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 子育て中の女性における管理職に就くことへの意識調査
3. 学会等名 第58回 日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上田あゆか, 児玉舞雪, 大西沙紀, 大林恵, 北川温子, 日笠麻友子, 片岡久美恵, 中塚幹也
2. 発表標題 妊娠・子育てをしている女性の就業に対する大学生の意識
3. 学会等名 第58回 日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮原友里, 酒本あい, 松岡敬典, 藤田志保, 久保光太郎, 小谷早葉子, 鎌田泰彦, 中塚幹也, 増山 寿
2. 発表標題 当院での若年血液腫瘍患者の妊孕性温存に対する取り組み
3. 学会等名 第62回日本生殖医学会学術講演会・総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 酒本あい, 松岡敬典, 藤田志保, 久保光太郎, 長谷川徹, 小谷早葉子, 鎌田泰彦, 増山 寿, 羽原俊宏, 林 伸旨, 中塚幹也
2. 発表標題 「がんと生殖医療を考える ネットワークOKAYAMA」の試み
3. 学会等名 第42回岡山産科婦人科学会総会ならびに学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 「がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA」のご紹介
3. 学会等名 がんと生殖医療ネットワークOKAYAMA 公開セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 産婦人科診療を取り巻く生命倫理に関する話題
3. 学会等名 香川県母体保護法指定医師研修会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性教育の中で妊孕性を啓発するには ~ライフプランを考えるヒント~
3. 学会等名 第5回「妊孕性等普及啓発標準プログラム」講師養成研修会 妊孕性教育サポート研修（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性教育でLGBTを教える
3. 学会等名 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム17 第31日「性教育」を創る」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 性の多様性と生殖
3. 学会等名 岡山医療センター附属岡山看護助産学校 助産学科 特別講義（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 妊孕性普及啓発：さらなる一歩
3. 学会等名 平成29年度 岡山県 「未来のパパ&ママを育てる出前講座」講師フォローアップ研修（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 妊孕性
3. 学会等名 思春期・若年成人（AYA）世代とがん シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中塚幹也
2. 発表標題 生殖医療と生命倫理
3. 学会等名 生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー 岡山
4. 発表年 2018年



〔図書〕 計16件

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 第一法規株式会社	5. 総ページ数 200
3. 書名 初任者研修実務必携追録	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 産婦人科臨床シリーズ6 女性ヘルスケア	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 300
3. 書名 ナーシンググラフィカ EX 疾患と看護	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本看護協会出版会	5. 総ページ数 320
3. 書名 助産師基礎教育テキスト2020年版	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学校法人久留米大学	5. 総ページ数 210
3. 書名 親子の心の診療に関する多職種連携マニュアル	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岡山県	5. 総ページ数 41
3. 書名 ライフプランを考えるあなたへ-まんがで読む-未来への選択肢 改訂版	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 300
3. 書名 ナーシング・グラフィカ母性看護学 母性看護実践の基本	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本看護協会出版会	5. 総ページ数 300
3. 書名 助産師基礎教育テキスト	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岡山大学大学院保健学研究科	5. 総ページ数 56
3. 書名 ライフプランを考えるあなたへ - まんがで読む - 未来への選択肢 < 拡大版 > 第2版	

1. 著者名 古井辰郎, 鈴木直, 中塚幹也, 北島道夫, 木村文則, 高井泰, 森重健一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金原出版株式会社	5. 総ページ数 30
3. 書名 医療従事者が知っておきたい AYA世代がんサポートガイド	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 公益社団法人日本産科婦人科学会	5. 総ページ数 50
3. 書名 女と男のディクショナリー-HUMAN+改訂第二版	

1. 著者名 中塚幹也 (監修)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 あかね書房	5. 総ページ数 112
3. 書名 個「性」ってなんだろう?	

1. 著者名 中塚幹也, 酒本あい	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岡山大学病院リプロダクションセンター	5. 総ページ数 7
3. 書名 将来, 子どもを持つことについて知りたい方とその家族へ	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岡山大学医学部保健学科	5. 総ページ数 46
3. 書名 ライフプランを考えるあなたへ - まんがで読む - 未来への選択肢 < 拡大版 >	

1. 著者名 中塚幹也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 390
3. 書名 ナーシング・グラフィカ母性看護学 母性看護実践の基本 「第3章性と生殖 第4章思春期・成熟期女性の健康と看護」	

1. 著者名 中塚幹也, 杉本盛人	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岡山大学出版会	5. 総ページ数 60
3. 書名 生殖補助医療技術学入門 「第 章, 第 章, 第 章」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>  
 Yahoo!ニュース 個人オージャー「生殖とジェンダーの今」  
<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka>  
 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 助産ネット  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>  
 岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター  
<http://artc.ccsv.okayama-u.ac.jp/>  
 岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育ところの相談室」  
<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~funin/>  
 岡山大学病院リプロダクションセンター  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/repro/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	粟屋 剛  (Awaya Tsuyoshi)  (20151194)	岡山商科大学・法学部・教授    (35301)	
研究分担者	菅沼 信彦  (Suganuma Nobuhiko)  (30179113)	名古屋学芸大学・看護学部・教授    (33939)	
研究分担者	出口 顕  (Deguchi Akira)  (20172116)	島根大学・学術研究院人文社会科学系・教授    (15201)	
研究分担者	穴戸 圭介  (Shishido Keisuke)  (10524936)	岡山商科大学・法学部・教授    (35301)	
研究分担者	小河 達之  (Ogawa Tatsuhiko)  (10346421)	岡山大学・医歯薬学域・助手    (15301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------